

事業計画書

1. 補助事業申請者

【商店街組織】

申請団体名	(ふりがな) まちづくりしょうてんがいしんこうくみあい まちづくり商店街振興組合				
商店街等の所在地	〒123-4567 〇〇県〇〇市まちづくり町1-2-3				
代表者	役職: 理事長 (ふりがな) あんしん まちお 氏名: 安心 町夫	申請の担当者	役職: 副会長 (ふりがな) あんしん がいた 氏名: 安全 街太		
担当者連絡先 ※日中連絡の取れる連絡先	電話: 000-123-4567 FAX: 000-123-4568	メールアドレス ※間違いがないようご注意ください。	anshin-anzen@machidukuri.jp		
設立年月日 ※申請団体、組織の設立年月日	昭和50年10月1日	出資者又は組合員の数	110名	商店街を構成する店舗数	115名
中小指針の適用	有・無 <input checked="" type="radio"/> 無		中小会計要領の適用	有・無 <input checked="" type="radio"/> 無	

【民間事業者】※該当者のみ

申請団体名	(ふりがな) あんぜんまちづくりかぶしがいしゃ 安全まちづくり(株)				
所在地	〒234-5678 〇〇県〇〇市まちづくり町2-3-4				
代表者	役職: 代表取締役社長 (ふりがな) まちづくり たろう 氏名: 街造 太郎	申請の担当者	役職: 営業課長 (ふりがな) せいび はなこ 氏名: 整備 花子		
担当者連絡先 ※日中連絡の取れる連絡先	電話: 000-234-5678 FAX: 000-456-7890	メールアドレス ※間違いがないようご注意ください。	machidukuri@anzen.co.jp		
資本の額又は出資の総額	100,000円	従業員数	3名	主たる業種	運送業
中小指針の適用	有・無 <input checked="" type="radio"/> 無		中小会計要領の適用	有・無 <input checked="" type="radio"/> 無	

・中小企業の会計に関する指針(中小指針)を適用している場合は「有」を選択。

・中小企業の会計に関する基本要領(中小会計要領)を適用している場合は「有」を選択。

※中小指針…会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が扱ることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理を示したもの

※中小会計要領…「中小指針」に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定して策定されたもの

書類発送先の 事務局からの宛名 (商店街等の所在地と同じ場合は、「同上」と記入)	(ふりがな) ゆうげんがいしあんぜんしょうてん 宛名 (有) 安全商店	(ふりがな) あんぜん がいた 受取人氏名 安全 街太
	〒 123-4567 〇〇県〇〇市まちづくり町1-2-4	電話: 000-234-4568

2. 商店街等の概要

商店街の概況	<p>【1.特徴】 私鉄まちづくり駅前に位置する全長〇〇mのアーケード商店街です。物販、サービスを中心とした業種で構成される近隣型商店街として、地域住民の生活に密着している商店街である。また、駅前広場の拡張工事に伴い、駅直結でアーケードにアクセスが可能になり、利便性が増加している。</p> <p>【2.周辺地域の概況】 当商店街に隣接して〇〇市役所やオフィス街があり、また、商店街を抜けた先に大学が新たに移転、開校したため、昼間人口が増加している。一方で、周辺地域に大型ショッピングセンターが進出する等、商業競争は厳しい状態になっている。</p> <p>【3.来街者の概況】 駅利用者の多くが当商店街を通行するため来街者が多い。顧客層は近隣の主婦層が多く、次に高齢者となっている。</p> <p>【4.地域住民のニーズ】 これまでは近隣在住者向けの店舗が多かったが、大学の開校に伴う若者向けサービスの展開、進展する高齢化社会への対応が求められている。</p> <p>【5.課題、問題点】 大学の開校をはじめ、若年層の来街者が増えたため、夜間・深夜の歩行者通行量が増加している。そのため、街路灯の整備が必要となっている。また、昭和〇〇年に設置したアーケードの老朽化が著しく、その整備が急務となっている。</p> <p>【6.取組状況】 来街者の安心・安全を第一として、〇〇警察書との連携により、月に2回程度、青年部の有志で夜間パトロールを実施している。また、月末には、地域住民が参加できる文化教室の開催や、子育て世代や高齢者が交流できるコミュニティ施設を運営する等、地域コミュニティの担い手として商店街活動を行っている。</p>
商店街組織における世代交代の取組状況及び女性・若手の参画状況	<p>青年部はこれまでも地域の防災訓練に積極的に参加するなど、地域の安心・安全の確保の取り組みを積極的に行っている。また、本事業実施後は、若者向けのイベントの開催や高齢者との交流事業を実施予定である。</p>

商店街の立地、規模、構成店舗の業種、周辺状況(公共施設や大型SCの進出など)、来街者の状況、地域住民のニーズ、商店街が抱える課題や問題点、取組等をできるだけ詳細に記載してください。

商店街の今後を担う、意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の活動内容等について記載してください。

3. 補助事業について

事業実施予定期間	平成 26年 5月 1日 ~ 平成 27年 1月 31日				
事業名	まちづくり商店街安心・安全設備等整備事業				
事業概要 ※複数の事業を行う場合は、行を適宜追加して下さい。	①	街路灯のLED化			
	②	アーケードの改修			
	③	高齢者向け宅配サービス車両の購入・拠点施設の設置			
事業概要説明 ※商店街の安心・安全に対する取り組みや考え、連携組織があればその関係性を記載すること。 ※商店街組織と民間事業者の連携体で事業を実施する場合は、それぞれの業務分担や事業実施体制を記載すること。	<p>事業が複数ある場合は、①、②、③・・・と番号をつけた上で記載してください。</p> <p>①街路灯のLED化 当商店街においては、日没後の街路灯の照度不足のため、交通事故の発生や通行上の心配から、来街者から多くの不安の声があがっている。さらに、〇〇市が平成〇〇年度に実施した、来街者アンケートに上記の状況を指摘する意見が多かったことでも、街路灯のLED化が当商店街の緊急の課題であることが浮き彫りになった。</p> <p>②アーケードの改修 建設後〇〇年経過した当商店街のアーケードは、老朽化による雨漏りが散見されており、応急的な修繕で対応していた。そうした中、昨年〇〇月にアーケード付属物の落下事故が発生した。人通りのない時間帯に事故が発生したため、怪我人が発生することはなかったが、危うく大惨事になるところであった。このような状況は、地域の安心・安全を担っている当商店街の存在意義を揺るがすものであり、早急に対応することが必要だと考えている。</p> <p>③高齢者向け宅配サービス車両の購入・拠点施設の設置 当商店街の周辺地域においては、高齢化の進行による買い物難民が問題となっている。独り暮らしのお年寄りの安心な暮らしを確保するため、安全まちづくり(株)が車両を購入し、高齢者向け御用聞きおよび宅配サービスを行うとともに、商店街の空き店舗を利用した拠点施設を設置する。商店街の各個店はニーズの高い商品の供給、取り次ぎ窓口等を担うことで、積極的な連携を行うとともに、高齢者の安全確認等の支援を行う。</p> <p>上記の3事業を実施することにより、本商店街は安心・安全に配慮した、身近で快適な商店街づくりを目指すとともに、商店街の活性化を目指すものである。</p>				
数値目標 ※①安心・安全の指標は、要請者である行政機関等がその設定及び効果測定を行うこと ※②歩行者通行量は、イベント実施時などの通行量ではなく、平常時の通行量を用いること ※③その他事業の効果測定するための独自の指標を追加してもよい(任意) ※備考欄は数値の測定日、調査日(予定日)を記載すること	事業実施前 (申請書作成時直近の数値)	数値	①安心・安全 現状、商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	②歩行者通行量 平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	③その他 生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%
		備考	平成〇〇年〇月〇日実施	平成〇〇年〇月〇日(〇時~〇時) 平成〇〇年〇月〇日(〇時~〇時)	平成〇〇年〇月〇日実施
	平成27年度	数値目標	商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%
		備考	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定
	平成28年度	数値目標	商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%
		備考	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定
	平成29年度	数値目標	商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%
		備考	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定
	平成30年度	数値目標	商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%
		備考	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定
平成31年度	数値目標	商店街を安心して歩行できると回答した者の割合 〇〇%	平日 〇, 〇〇〇人 休日 〇, 〇〇〇人	生活用品の購入に不安を覚える回答した者の割合 △△%	
	備考	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	平成〇〇年〇月実施予定	
数値目標の根拠	①安心・安全	平成26年12月15日に〇〇市が実施した来街者アンケートによると、『商店街を安心して歩行できると回答した者の割合』が〇〇%であるところ、来年度に実施する来街者アンケートの結果、〇〇%を目標とする。街路灯のLED化、アーケードの改修を行うことによって、来街者や地域住民にとって安心して通行できるようになることから、相乗効果を期待することができ、来年度以降〇%ずつ改善することを目標とする。			
	②歩行者通行量	〇〇(商店街中心部)で計測した結果、現状まちづくり商店街振興組合の歩行者通行量は〇, 〇〇〇人/日(平日)であるところ、事業実施後は前年度プラス〇〇〇人/日を目標とする。本事業の実施とともに、各個店の魅力を向上させることで商店街に新たな顧客をつくり、歩行者の増加につなげる。当商店街にて毎年実施している通行量調査では、直近5年で平均〇%減少していることから、本事業を行うことによる目標値は〇〇〇人/日増加とした。			
	③その他	地域の独り暮らしのお年寄りを対象としたアンケートを実施した結果、『生活用品の購入に不安を感じる(心配)と回答した者の割合』が〇〇%となった。高齢者の安心な買い物環境を守る為、本事業を行う事により今後生活用品の購入に不安を感じる割合を毎年〇%改善し、独り暮らしのお年寄りへ安心して暮らせる環境の改善をする事を目標とする。			
本補助事業により整備する施設・設備等に対する、過去の国及び地方公共団体等の補助金活用	有・無	有の場合は補助金交付元を記載してください。 経済産業省〇〇経済産業局			

申請者で独自に設定してください。

整備する施設、設備ごとに記載してください。
※行政機関からの要請書に記載されていない事業は、補助対象なりません。

当該補助事業の事業目的、商店街の課題や問題点を踏まえた上で、本事業を実施する必要性について記載してください。また、安心・安全に対する取り組みや考え、連携組織があればその関係性もあわせて

街区が広範に及ぶ等により、上限額の1億5,000万円を超える補助金額を要望する場合は、その事情を詳細に記載してください。※特に必要と認められる案件については、上限額を2億円まで拡大

安心・安全への評価に関する定量的な指標の設定及びその効果測定は、要請者である行政機関等が行うものです。※アーケード等の改修事業、高齢者向け御用聞き型宅配サービス施設の整備については、地域住民等に対するアンケート調査を行い、安心・安全の指標とすることが必要です。

歩行者通行量の測定については、イベント実施時や特定の店舗によるものではなく、平常時の商店街の利用時間に行うこととし、実数を記載してください。また、報告にあたっては同様の手法(平日・休日の別、測定時間、測定場所)を用

数値目標の根拠については、それぞれ定量的な数値を用いて、出来る限り具体的に記載してください。

経費明細書

(様式3【事業に要する経費】)

(単位：円)

事業費	A. 総事業費 (税込み) ※複数の事業を行う場合は総額		50,994,000	円		
	B. 補助対象経費 (税抜き) ※総事業費のうち補助対象となる経費		47,223,777	円		
	C. 補助金申請額 (税抜き)		31,482,518	円		
	D. 自己負担額【D = A. 総事業費 - C. 補助金申請額】		19,511,482	円		
本事業実施に対する地方公共団体等からの補助	有・無	支援団体名	〇〇市役所	補助金額	5,000,000	円
資金調達方法	(今回の事業実施に際し、必要となる資金(総事業費、自己負担額等)の調達方法を記載して下さい。) 総事業費の50,994,000円のうち、まちづくり商店街振興組合が4,000万円を金融機関より借入れを行う。自己負担額については、積立金から〇〇〇円を拠出するほか、毎月〇〇〇円(〇〇店舗×〇〇〇円)の臨時組合費を徴収し、金融機関への返済とする。また、連携先である安全まちづくり(株)は、総事業費のうち〇〇〇万円を負担し、全額自己資金にて実施する。					
借入金	40,000,000	円				
借入金返済計画	(今回の事業実施に際し、金融機関などから事業費用の借入れを行う場合の返済計画を記載して下さい。) ・借入金額・・・40,000,000円 ・返済先・・・×信用金庫×支店 ・調達方法等・・・補助金入金後〇、〇〇〇万円の繰り上げ返済を行い、残額〇〇〇万円については、積立金を〇〇〇万円を充当するほか、月々〇〇、〇〇〇円を〇〇年間で返済する予定である。					

本事業を実施するに当たって必要な経費であって、適正に計上された金額を記載してください。

B.補助対象経費(税抜き)の2/3以内の金額を記載してください。

本事業における資金(総事業費、自己負担額)の調達方法(金融機関からの借入金額、臨時の組合費の徴収の有無等)を記載してください。また、連携体がある場合は、その民間事業者の資金の調達方法も記載してください。

本事業を実施するに当たって金融機関等から借入金がある場合は、金額、返済先、調達方法、返済期限等を記載してください。また、連携体があり、当該民間事業者が借入を行う場合は、その返済計画も記載してください。

【経費明細】※複数の事業を行う場合は、事業毎に作成して下さい

事業概要	街路灯のLED化
------	----------

(単位：円)

経費内容	総事業費 (税込み)	補助対象経費 (税抜き)	補助金申請額 (税抜き)	積算内訳 (税込み)	備考
<施設・設備等の整備に係る経費>					
施設整備費	9,750,000	9,027,777	6,018,518	150,000円×65基	
内装・設備・施工工事費	円	円	円		
空き店舗改造費	円	円	円		
アーケード等撤去費	円	円	円		
車両購入費・改造費	円	円	円		
小計	9,750,000	9,027,777	6,018,518		
<補助対象外経費>					
	円	—	—		
小計	円	—	—		
合計	9,750,000	9,027,777	6,018,518		

金額の内訳を記載してください。

※歩行者通行量の測定に関する経費を計上する場合は記載して下さい。

雑役務費	96,000	96,000	64,000	12,000円/人×2人×2日×2箇所	
委託費	円	円	円		
<補助対象外経費>					
	円	—	—		
合計	96,000	96,000	64,000		

歩行者通行量の測定に関する経費は、複数の事業を実施する場合には「1枚目」に金額等を記載してください。

- ・各経費の積算内訳を示して下さい。必要に応じて備考欄に「内訳別紙」と記載し、別紙を添付して下さい。
- ・内訳別紙は、できる限り詳細なものにして下さい。

経費明細書

(様式3【事業に要する経費】)

(単位：円)

事業費	A. 総事業費（税込み） ※複数の事業を行う場合は総額			円
	B. 補助対象経費（税抜き） ※総事業費のうち補助対象となる経費			円
	C. 補助金申請額（税抜き）			円
	D. 自己負担額【D = A. 総事業費 - C. 補助金申請額】			円
本事業実施に対する地方公共団体等からの補助	有・無	支援団体名	補助金額	円
資金調達方法				
借入金	円			
借入金返済計画				

【経費明細】※複数の事業を行う場合は、事業毎に作成して下さい

事業概要	アーケードの改修
------	----------

(単位：円)

経費内容	総事業費 (税込み)	補助対象経費 (税抜き)	補助金申請額 (税抜き)	積算内訳 (税込み)	備考
<施設・設備等の整備に係る経費>					
施設整備費	29,160,000 円	27,000,000 円	18,000,000 円		内訳別紙
内装・設備・施工工事費	円	円	円		
空き店舗改造費	円	円	円		
アーケード等撤去費	円	円	円		
車両購入費・改造費	円	円	円		
小計	29,160,000 円	27,000,000 円	18,000,000 円		
<補助対象外経費>					
	円	— 円	— 円		
小計	円	— 円	— 円		
合計	29,160,000 円	27,000,000 円	18,000,000 円		

『内訳別紙』と記載する場合は、内訳を別紙にて記載いただくか、見積書を提出してください。

※歩行者通行量の測定に関する経費を計上する場合はご記載ください。

雑役務費	円	円	円		
委託費	円	円	円		
<補助対象外経費>					
	円	— 円	— 円		
合計	0 円	0 円	0 円		

- ・各経費の積算内訳を示して下さい。必要に応じて備考欄に「内訳別紙」と記載し、別紙を添付して下さい。
- ・内訳別紙は、できる限り詳細なものにして下さい。

経費明細書

(様式3【事業に要する経費】)

(単位：円)

事業費	A. 総事業費（税込み） ※複数の事業を行う場合は総額		円	
	B. 補助対象経費（税抜き） ※総事業費のうち補助対象となる経費		円	
	C. 補助金申請額（税抜き）		円	
	D. 自己負担額【D = A. 総事業費 - C. 補助金申請額】		円	
本事業実施に対する地方公共団体等からの補助	有・無	支援団体名	補助金額	円
資金調達方法				
借入金	円			
借入金返済計画				

【経費明細】※複数の事業を行う場合は、事業毎に作成して下さい

事業概要	高齢者向け宅配サービス車両の購入・拠点施設の設置
------	--------------------------

(単位：円)

経費内容	総事業費 (税込み)	補助対象経費 (税抜き)	補助金申請額 (税抜き)	積算内訳 (税込み)	備考
<施設・設備等の整備に係る経費>					
施設整備費	円	円	円		
内装・設備・施工工事費	円	円	円		
空き店舗改造費	8,748,000 円	8,100,000 円	5,400,000 円		内訳別紙
アーケード等撤去費	円	円	円		
車両購入費・改造費	3,240,000 円	3,000,000 円	2,000,000 円		内訳別紙
小計	11,988,000 円	11,100,000 円	7,400,000 円		
<補助対象外経費>					
	円	— 円	— 円		
小計	円	— 円	— 円		
合計	11,988,000 円	11,100,000 円	7,400,000 円		

※歩行者通行量の測定に関する経費を計上する場合はご記載ください。

雑役務費	円	円	円		
委託費	円	円	円		
<補助対象外経費>					
	円	— 円	— 円		
合計	0 円	0 円	0 円		

- ・各経費の積算内訳を示して下さい。必要に応じて備考欄に「内訳別紙」と記載し、別紙を添付して下さい。
- ・内訳別紙は、できる限り詳細なものにして下さい。

